

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年11月24日 (2011.11.24)

【公開番号】特開2011-26326(P2011-26326A)

【公開日】平成23年2月10日 (2011.2.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-006

【出願番号】特願2010-200674(P2010-200674)

【国際特許分類】

C 0 7 D 209/08 (2006.01)

C 0 7 D 217/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/472 (2006.01)

C 0 7 D 401/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/4725 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

C 0 7 D 409/12 (2006.01)

C 0 7 D 237/28 (2006.01)

A 6 1 K 31/502 (2006.01)

A 6 1 K 31/404 (2006.01)

C 0 7 D 231/56 (2006.01)

A 6 1 K 31/416 (2006.01)

A 6 1 K 31/55 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/02 (2006.01)

C 0 7 D 413/12 (2006.01)

C 0 7 D 417/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/541 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 209/08 C S P

C 0 7 D 217/02

A 6 1 K 31/472

C 0 7 D 401/12

A 6 1 K 31/4725

A 6 1 K 31/496

C 0 7 D 409/12

C 0 7 D 237/28

A 6 1 K 31/502

A 6 1 K 31/404

C 0 7 D 231/56 Z

A 6 1 K 31/416

A 6 1 K 31/55

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 13/02

C 0 7 D 413/12

C 0 7 D 417/12

A 6 1 K 31/541

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月4日(2010.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

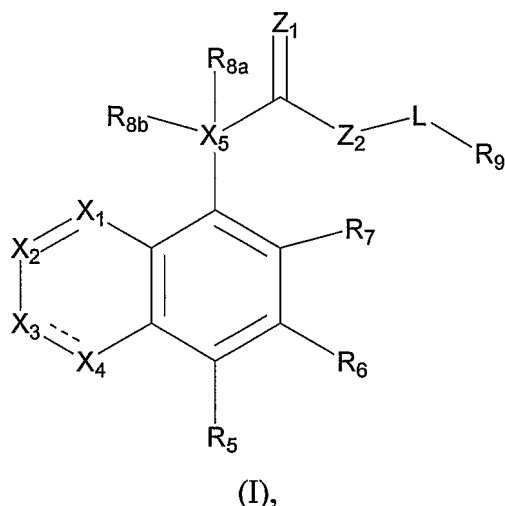
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)：

【化1】



[式中、

- - - は不在又は単結合であり；

X_1 はN及びCR₁から構成される群から選択され；

X_2 はN及びCR₂から構成される群から選択され；

X_3 はN、NR₃、及びCR₃から構成される群から選択され；

X_4 は結合であるか又はN及びCR₄から構成される群から選択され；

X_5 はN及びCから構成される群から選択され；

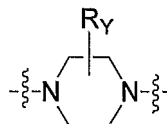
但し、 X_1 、 X_2 、 X_3 、及び X_4 の少なくとも1個はNであり；

Z_1 はO、NH、及びSから構成される群から選択され；

Z_2 は結合であるか又はNH及びOから構成される群から選択され；

Lはアルケニレン、アルキレン、アルキニレン、シクロアルキレン、

【化2】



、 $-(CH_2)_mO(CH_2)_n-$ 、及びN(R_Y)から構成される群から選択され、前記式中、 $-(CH_2)_mO(CH_2)_n-$ の左端は Z_2 に結合しており、右端はR₉に結合しており；

mとnは各々独立して0～6であり；

R_Yは水素及びアルキルから構成される群から選択され；

R₁、R₃、R₅、R₆及びR₇は各々独立して水素、アルケニル、アルコキシ、アルコキシアアルコキシ、アルコキシアルキル、アルコキシカルボニル、アルコキシカルボニルア

ルキル、アルキル、アルキルカルボニル、アルキルカルボニルアルキル、アルキルカルボニルオキシ、アルキルチオ、アルキニル、カルボキシ、カルボキシアルキル、シアノ、シアノアルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ホルミル、ホルミルアルキル、ハロアルコキシ、ハロアルキル、ハロアルキルチオ、ハロゲン、ヒドロキシ、ヒドロキシアルキル、メルカプト、メルカプトアルキル、ニトロ、 $(CF_3)_2(OH)C-$ 、 $-NR_A S(O)_2 R_B$ 、 $-S(O)_2 OR_A$ 、 $-S(O)_2 R_B$ 、 $-NZ_A Z_B$ 、 $(NZ_A Z_B)$ アルキル、 $(NZ_A Z_B)$ カルボニル、 $(NZ_A Z_B)$ カルボニルアルキル及び $(NZ_A Z_B)$ スルホニルから構成される群から選択され、前記式中、 Z_A 及び Z_B は各々独立して水素、アルキル、アルキルカルボニル、ホルミル、アリール、及びアリールアルキルから構成される群から選択され；

R_2 及び R_4 は各々独立して水素、アルケニル、アルコキシ、アルコキシアルコキシ、アルコキシアルキル、アルコキシカルボニル、アルコキシカルボニルアルキル、アルキル、アルキルカルボニル、アルキルカルボニルアルキル、アルキルカルボニルオキシ、アルキルチオ、アルキニル、カルボキシ、カルボキシアルキル、シアノ、シアノアルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ホルミル、ホルミルアルキル、ハロアルコキシ、ハロアルキル、ハロアルキルチオ、ハロゲン、ヒドロキシ、ヒドロキシアルキル、メルカプト、メルカプトアルキル、ニトロ、 $(CF_3)_2(OH)C-$ 、 $-NR_A S(O)_2 R_B$ 、 $-S(O)_2 OR_A$ 、 $-S(O)_2 R_B$ 、 $-NZ_A Z_B$ 、 $(NZ_A Z_B)$ アルキル、 $(NZ_A Z_B)$ アルキルカルボニル、 $(NZ_A Z_B)$ カルボニル、 $(NZ_A Z_B)$ カルボニルアルキル、 $(NZ_A Z_B)$ スルホニル、 $(NZ_A Z_B)C(=NH)-$ 、 $(NZ_A Z_B)C(=NCN)NH-$ 、及び $(NZ_A Z_B)C(=NH)NH-$ から構成される群から選択され；

R_A は水素及びアルキルから構成される群から選択され；

R_B はアルキル、アリール、及びアリールアルキルから構成される群から選択され；

R_{8a} は水素及びアルキルから構成される群から選択され；

R_{8b} は X_5 がNである場合には不在であり又は R_{8b} は X_5 がCである場合には水素、アルコキシ、アルコキシカルボニルアルキル、アルキル、アルキルカルボニルオキシ、アルキルスルホニルオキシ、ハロゲン、及びヒドロキシから構成される群から選択され；

R_9 は水素、アリール、シクロアルキル、及び複素環から構成される群から選択される]の化合物又は医薬的に許容可能なその塩もしくはプロドラッグ。